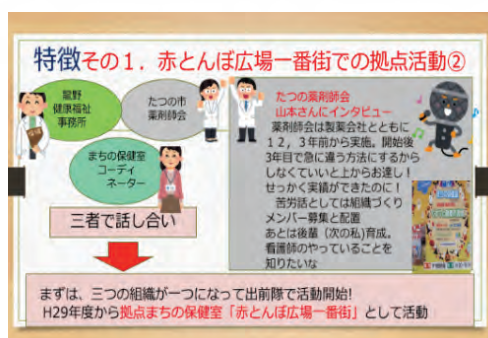


西播支部は姫路、福崎、たつの、宍粟、佐用、赤穂の6ブロックで構成され、拠点は18か所で活動をしています。出前隊も昨年度29か所となり、1回/年と定期的の実施されているところも多く、来場者の方も積極的に参加されています。ボランティア数は318名の登録がされています。

西播支部の活動の特徴



1

「たつの赤とんぼ広場一番街」では、「たつの薬剤師会」と協働してまちの保健室活動をしています。

「龍野社会福祉事務所」「たつの薬剤師会」「西播支部まちの保健室」の3者が話し合いを行い、出前隊活動を開始し、平成29年度より拠点活動を「たつの薬剤師会」と協働して活動しています。



2

平成29年度より「認知症対応型まちの保健室」を実施しています。

老人専門看護師・認知症認定、認知症相談員が参加し、忘れ物相談などを行っています。最初からのリピーターの方がおられ「また、次も来るわな」と家路につかれます。お話を傾聴することで安心感につながっています。

平成30年度からは、城内図書館も「認知症対応型まちの保健室」として活動をしています。



3

学生とともにまちの保健室活動を実施し、ロールモデルとしても役割発揮をしています。

令和元年10月27日の「国際交流フェスティバル」出前隊のまちの保健室の写真です。看護大学教員と学生、看護師スタッフとともに、同じフロアで活動。将来の看護師の成長を肌で感じ、また看護師は良きロールモデルとして役割発揮をしています。

看護の日のイベント



令和元年5月19日には看護の日イベントを「姫路リバーシティ」にてまちの保健室活動。身長・体組成・骨密度・血管年齢・栄養相談・ナースに変身・災害コーナーを実施。買い物ついでに家族連れで生活習慣病予備軍の世代も来場され、今の生活を少し見直す機会にもなっています。来場者425名、ボランティア看護職77名、栄養士4名、看護学生24名が参加しました。栄養士さんとも協働しています。

「まちの保健室」ボランティア研修会



令和元年11月9日(土)14時～16時

場所:姫路市医師会館5F

「ビジョンヨガとタッチセラピー」

～心と身体の緊張をほぐす!～ 高橋温子先生

47名の参加がありました。「リフレッシュや自身のケアも必要であると感じた。」「ゆとりを持つことで、相手の気持ちや接し方が変わってくることが分かってよかった」などの意見がありました。

「まち保活動」をつなげるために!

西播支部では、まち保委員は任期が過ぎてもボランティア活動を継続し、他施設のメンバーとのネットワークを切ることなく、活動を支えています。「顔が見え、つなげる、つながるまち保活動」を展開しています。

